



いばら 公共交通かわら版

民間路線バス

1 運行見直し基準

「拡大」の基準… 1便あたり利用者数
10.0人以上 かつ
収支率 80%以上

「縮小」の基準… 1便あたり利用者数
2.0人未満 かつ
収支率 20%未満

※市域をまたぐ路線の1便あたり利用者数
については、市内区間の実績を参考とする。

「縮小」に該当 …

2 運行実績と判定結果

事業者	路線名	年間1便 あたり利 用者数 (人/便)	収支率 (%)	乗降調査によ る市内区間の 1便あたり利 用者数(人/便)
井笠バス.C	笠岡～井原線	15.2	76.5	13.3
井笠バス.C	井原～福山線	10.9	47.2	4.6
北振バス	井原～共和・ 弥高山入口線	2.2	29.8	-
北振バス	井原～山野下市・ 山野田原線	2.0	13.8	1.7
北振バス	井原～佐屋線	2.3	41.7	-
北振バス	井原～美星支所・ 黒萩・宇戸谷線	2.4	21.6	-
北振バス	矢掛～美星産直 プラザ・平谷線	2.7	28.0	2.3

井原あいあいバス

1 運行見直し基準

「拡大」の基準… 1便あたり利用者数
10.0人以上

「縮小」の基準… 1便あたり利用者数
3.0人未満

※芳井・美星地区の井原あいあいバスについては、スク
ールバスの間合い運用であり、ダイヤに制約があるため、
弾力的に対応する。

2 運行実績と判定結果

※色が付いている路線は「縮小」に該当

地区名	路線名	年間1便あたり利用者 数 (人/便)
井原	嫁いらす観音線	6.6
	馬越恭平線	6.8
	北条早雲線	3.1
	野上線	4.0
	ぶどうの里線	6.3
	子守唄の里線	2.6
芳井	天神峡線	2.2
	ごんぼう村線	3.9
美星	黒木・星田線	0.3
	黒萩・八日市線	0.4
	鬼ヶ嶽線	0.3

予約型乗合タクシー

1 運行見直し基準

「拡大」の基準… 1便あたり利用者数 4.1人
以上 かつ 年間運行回数
200回以上

「縮小」の基準… 1便あたり利用者数 1.1人
未満 かつ 年間運行回数
100回未満

2 運行実績と判定結果

※色が付いている路線は「縮小」に該当

地区名	運行区域名	年間1便 あたり利 用者数 (人/便)	運行回数 (回/ 年)
井原	高屋北部	1.6	137
	上稲木	1.0	122
	高月	1.6	90
	門田	1.1	182
	野上北部	1.4	156
	荏原・西江原	-	0
芳井	天神山・上野・西吉井	1.0	24
	高原・高瀬	1.0	18
	峠村・野畑	-	0
	共和下・川相	-	0
美星	六部落・水名	1.2	30

この運行見直し基準は、基準に該当する路線を直ちに減便するということではなく、あくまで、井原市公共交通会議で拡大・縮小するかどうかの検討を行う目安とするためのものです。
路線を残していくためにも、ぜひ皆さん公共交通を利用してみませんか。

●平成29年度バス・予約型乗合タクシー運行実績のお知らせ●
平成29年度の民間路線バス・井原あいあいバス・予約型乗合タクシーの運行実績について結果をお知らせします。
(集計対象期間…平成28年10月1日～平成29年9月30日)

「井原市地域公共交通網形成計画」に基づく事業実施報告

※「目標値」は、平成32年度の達成を目指す値です。

全体的な計画の モニタリング	公共交通の利用者数	方法	・民間路線バス乗降調査 ・井原あいあいバス・予約型乗合タクシーの利用実績
目標値	381千人	今年度	374千人
今年度の値は平成28年10月～平成29年9月の実績。 ※平成27年10月～平成28年9月の実績は341千人			
方針1-3	都市拠点の交通結節点における交流スペース等の利用回数	方法	交通事業者への聞き取り
目標値	60回/年	今年度	93回/年
井原駅：54件、井原バスセンター：39件 公共交通かわら版において、利用の呼び掛けを実施。			
方針2-1	交通結節点における利用環境の改善状況	方法	交通事業者への聞き取り
目標値	整備箇所 5件 (1件/年)	今年度	1件
井原バスセンターの1階待合室にブラインドを設置			
方針2-2	公共交通かわら版の発行回数	方法	発行の都度、市が実績を把握
目標値	6回/年	今年度	6回/年
公共交通かわら版を6回発行 (7月、8月、9月、11月、2月、3月に発行)			
方針2-3	バスの乗務員の接遇に不満を感じる人の割合	方法	バス利用者アンケート調査
目標値	10%以下	今年度	0%
井原バスセンター及び井原市民病院においてバス利用者アンケート調査を実施。(うち満足とを感じる人の割合は57.1%)			
方針3-1	バス体験学習会の参加者のうち、年度内にバスに乗った生徒数の割合	方法	バス体験学習会参加者への事後アンケート調査
目標値	75%	今年度	47%
バス体験学習会を9箇所開催。			
方針3-2	バス停サポーター制度の導入箇所数	方法	導入の都度、市が実績を把握
目標値	15箇所 (3箇所×5年)	今年度	3箇所
本新町公民館、中国新聞井原支局、四季が丘団地で導入。			
方針3-3	住民説明会や意見交換会の開催回数	方法	開催の都度、市が実績を把握
目標値	3回/年	今年度	3回
公共交通に関する意見交換会や予約型乗合タクシーの説明会を実施。			

お知らせ 予約型乗合タクシーの運行事業者が変わります

予約型乗合タクシーの一部の運行区域では、平成30年4月より運行事業者が変わります。対象の運行区域と変更となる運行事業者は以下のとおりです。利用者の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

【変更前（平成30年3月31日まで）】

運行区域	現在の運行事業者
高月エリア	井原交通
門田エリア	
荏原・西江原エリア	
峠村・野畑エリア	



【変更後（平成30年4月1日から）】

運行区域	変更後の運行事業者
高月エリア	日の丸タクシー
門田エリア	一丸タクシー
荏原・西江原エリア	一丸タクシー
峠村・野畑エリア	日の丸タクシー